

平成29年度事業報告

1. 概要

我が国においては、少子高齢化が進み、労働力人口が減少している中、高齢者が健康で意欲と能力がある限り、年齢にかかわらず地域社会の「支え手」として活躍できる「生涯現役社会」を実現することが重要となっております。併せて、平成28年6月2日に閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」のロードマップには、シルバー人材センターを通じた高齢人材を活用することが掲げられており、地域の日常生活に密着した仕事を提供しているシルバー人材センターの役割に期待が高まっています。一方では、高齢者の雇用を巡っては、高齢者雇用安定法が改正され、65歳までの雇用確保の仕組みが整備され、65歳を超えても働きたい高齢者の就業機会確保が課題であります。

このようなこと状況を踏まえて、平成29年度事業計画の基本方針に基づきまして、次のように事業に取り組みました。

まず、基本理念の周知徹底に関しましては、会員及び役職員が「自立・自主」「共働・共助」を常に認識していただき、総会、ボランティア活動等への積極的な参加の呼びかけを行いました。

次に、安全・適正就業の徹底については、シルバー事業の最優先課題と位置づけ、安全・適正就業委員による就業現場のパトロールを実施し、技能講習会として、重篤事故の多い部門のせんだい講習会を行い、安全作業に対する意識の徹底を行いました。

次に、高齢者活用・現役世代サポート事業の推進については、業務推進委員による会員拡大及び就業拡大を、市内一円の訪問による普及に努めましたが、結果的に、十分な成果はあげることができませんでした。シルバー人材センター事業における重要事項であることから継続し推進してまいり、併せて、広報誌の発行、市広報誌、市使用封筒等への広告や、市主催の「産業祭」に初めて出店し、PRに努めました。派遣事業の推進については、事業所のニーズの把握に努め、派遣事業のご理解を頂くために、十分な説明を行い事業導入に努め、平成30年度からの派遣手数料の改正についても、丁寧な説明に努めました。

次に、地域就業機会創出・拡大事業については、平成29年度より新規事業として遊休地を活用し、アグリ事業を展開し会員の就業機会の拡大を図ってまいりました。台風被害により本年度の作物の収穫は出来ませんでした。本市の特産物の作物の作付けを行い、引続き、事業を展開してまいります。

次に、福祉・家事援助サービス事業の推進については、高齢者が高齢者

を支える観点から重要な事業であります。複雑化するサービス提供と会員の就業とが合わず十分な事業展開を行うことができませんでしたが、行政と連携して、引続き、情報の収集や相談を行ってまいります。

次世代を担う子供たちを育てる子育て支援事業については、市の委託事業導入により、水之上小学校の児童クラブ運営を行い、女性会員の確保に努めてまいりました。併せて、平成30年度より協和小学校の児童クラブ開設の予定があることから、市と協議してまいりました。

今後も、国、県、市、連合会等の関係機関と連携を図り、活力ある地域社会づくりに貢献し、地域から信頼されるシルバー人材センターづくりを目指し、事業運営を推進してまいります。

平成29年度の事業実績の主なものは次のとおりでございます。

	29年度	28年度	前年度比
会 員 数	161人	166人	5人減
就 業 実 人 数	143人 (派遣就業者を含む160人)	146人 (派遣就業者を含む163人)	3人減 (年度内に1回以上就業)
就 業 延 人 数	13,555人日	14,392人日	837人減
就 業 率	88.8% (派遣を含む99.4%)	88.0% (派遣を含む98.2%)	0.8%増
契 約 件 数	1,612件	1,778件	166件減
契 約 金 額	63,923,864円	66,287,492円	2,363,628円減
派 遣 契 約 金 額	15,453,740円	12,683,906円	2,769,834円増
シルバ－事業 派遣事業合計	79,377,604円	78,971,398円	406,206円増